

平成29年度事業報告書

テーマ：信頼あるサービスと情報提供により、地域福祉の推進と社会貢献を行う

サブテーマ：認知症高齢者への理解と個別ケアにより、利用者・家族に寄り添うケアを提供する

部署名：（認知症対応型通所介護）デイサービスセンターいこい・ほほえみ

<概要> 1. 専門性を深め、チーム力を高める。

2. 地域から求められるデイサービスづくり。

3. 認知症高齢者本人と介護家族の負担軽減につとめる。

<総括> 1. 一人一得意活動をモットーに、朝の会のあいさつ、調理活動、縫い物活動、畑仕事など、

「利用者の得意なこと、できること」を探して役割を持って取り組んでもらった。

また、利用者に希望を募って、貼り絵を中心に季節を感じる作品作りに取り組んだ。同じ

目的を持って作業活動を行い、利用者同士の交流を促し、居場所づくりも行えた。

2. 運営推進会議を開催（年2回）し、いこい・ほほえみの活動を紹介できた。

6月の三国社協主催あいあい祭り、9月の法人秋祭りに参加し、活動内容をパネル展示し

た。また、いこい・ほほえみの活動紹介の一部として、各祭りにて利用者の作品を展示、

利用者手作りの雑巾・ティッシュカバーを販売、公益社団法人、認知症家族の会のPRも

行った。

28年度の利用者数減少が29年度もなかなか増加に転じず、豪雪による休園（2/6～2/10）

の影響も大きかった。

この冬は37年ぶりの豪雪で、除雪も高速道路や国道が優先で一般公道が走行可能となる

まで何日も要し、ほとんどの職員が出勤できず、また悪路で送迎に安全が確保できないた

めやむを得ず休園した。

休園中はケアマネジャーと連携して全利用者の安否確認を行った。また、白楽荘の人手不足のチームへ応援に行った。

職員の休職や退職により、人手不足も解消できなかった。しかし、年度末にかけて徐々に利用者が増加し、職員も復帰予定で次年度は利用者数増が見込める。

3. 必要に応じて、家族の希望に合わせた送迎時間の調整や、居宅内介護（消灯・点灯・火の始末・荷物や服薬の確認・開錠・施錠など）のニーズにも対応した。

また、一名虐待が疑われ、ケアマネジャーや地域包括支援センターなど外部と連携を図りながら対応した。